

和地ひとみレポート No.121

平成26年東大和市議会第2回定例会：一般質問①『新学校給食センター建設について』

市民から「任せて安心」と言われる姿勢で



■市民説明会で保留となっていた不透明点

…6月3日から開催されているH26年東大和市議会第2回定例会において、和地ひとみは以下の2つのテーマについて一般質問をおこないました。

① 新学校給食センター建設について

1 先日開催された市民説明会で出された要望について
⇒どのような要望が出たのか。
⇒その要望に対してどのような対応をするのか。

2 発注者である市の責任について。
⇒請負業者の受注者としての責任と発注者である市の責任については、どのように認識しているのか。

3 今後のスケジュールと進め方について、市民説明会での答弁では未定となっていた部分がほとんどであったが、本年度の事業のスケジュールから考えた場合、既に決定すべき部分もあると考える。
⇒入札の方法の決定に関する考え方について。

② 市の組織マネジメントと人材マネジメントについて

1 地方分権や当市の個別大型事業、時代の変化により行政の事務事業は変化している。
⇒「東大和市職員定数条例」で定められた職員の定数の根拠は。

⇒「東大和市職員定数条例」で定数を定めた時と現在の事務量に違いはあるか。
⇒現在の事務量にふさわしい定数は把握しているか。

2 正職員以外の活用についての現状と課題は。

3 持続可能な行財政運営を行っていく上での組織戦略の考え方、課題とそれに対する対応について。

4 行政ニーズや役割が変化している現状に必要な人材を育成するための取組みにはどのようなものがあるか。

…昨年度、基本設計が完成した「新学校給食センター建設」について、3月には近隣住民を対象に建設に説明会が開催されました。その際、今後の進め方について不明な点、また、説明会で出た質問への回答が保留されていた点などがあったこと。また、事業を実際に推し進めている市の担当者の取り組み姿勢などについて疑問があったため『新学校給食センター建設』についてを一般質問で取り上げました。

■今後何十年も使用する施設

…和地ひとみは、今まで「新学校給食センター建設」について一般質問で2度取り上げてきました。その際は、主に予算面での不明な点について指摘。この新学校給食センター建設について、市が当初見積もった予算は25億3000万円とされていましたが、他自治体の建設コストと比較すると高額な部分があったため、

その内容を精査するために
昨年の6月定例会で質問。
その後、市の担当者も内容を
精査するために、見積もりのとり直し、建築単価の見直しなど事業費の精査を実施。概算で約23億3,000万円まで、見積もりを見直してくれ、現時点では基本設計が終了しているところです。

…「新学校給食センター建設」は東大和市の事業の中でも金額、規模、将来性などの点で重要な事業です。現在の給食センターは約40年使用していることを考えると、新学校給食センターも同等の年月使用することになる施設と考えられます。和地ひとみは、1日でも早く子ども達に安心して安全なことはもちろん、食育効果の高い給食を提供してあげたいと思う一方で、20億円を超える多額の費用を費やし、将来にわたって使われることを視野に入れなければならない事業については、全市民が納得できる透明性と説明責任を備えて推し進めて欲しいと思っています。今回は、そのような視点で市の考え方などを確認しました。

■市民の要望はどこまで取り入れるか

…3月に開催された市民説明会では、新学校給食センターができることにより発生する不安な点についての質問と要望が出ていました。そこで、どのような要望が出て、それに対して市はどのように対応するのかを確認しました。

…市民から出た要望については、周辺環境への要望が多く出たとのこと。『新学校給食センター周辺の市道の交差点に警備員を配置して欲しい』『センターの車の出入口に警告灯などを設置し安全対策をして欲しい』といった交通に関するもの、臭いなどについては『臭気を取るためにどのような装置をつけるのか教えて欲しい』。さらに騒音に関するものとしては『屋上に設置する室外機に防音壁を設置して欲しい』というものがあつたとのこと。その他にも『給食の安全性には充分配慮し、安全性を確保して欲しい』という要望も出たとのことでした。

…このような市民からの要望への対応の有無についての判断基準はあるのかを確認したところ「市が対応すべきことなのかどうか、関係機関に協力を依頼すべきことなのかどうか、物理的に可能なことなのかどうか、また、技術的に可能なことなのかどうか、可能だとした場合、コストがどれくらいかかるのかどうか、また、そのコストが一過性のことなのか継続的なものなのかを総合的に検討して判断したい」との答弁でした。
(裏面につづく)

具体的には「車両の出入りに警告灯などを設置することについては、今後の実施設計で検討」「周辺道路の安全性の確保については、現地確認を行った。警察とも確認をし、今後も調整をしていきたい。工事期間中は建設地の角の交差点に警備員を配置する予定だが、稼働後は必要かどうかを考えたい」とのこと。「臭気については脱臭装置を設置する予定」「騒音については室外機自体、低騒音性のものを使用する予定」とのことでした。

…出てきた要望で一番気になるのが、小学生の通学路になっているセンター出入口の安全確保です。材料を搬入する朝の時間帯、給食後の食器の回収のための車の出入りは、通学時間帯に重なることも想定され、今までにない交通量となることは明白です。もちろん、ドライバーにも気をつけてもらい、子ども達も安全を確認して通行すべきですが、子ども達のための給食センターが原因で子ども達が事故に遭遇するという事は避けたいものです。検討ということをするならば予算のことだけではなく「時間帯の確認」「交通量の確認」など具体的な検討材料を持って結論を出してほしいです。

■発注者である『市』の責任は

…和地ひとみも参加した市民説明会では給食センターの肝である『学校給食衛生管理基準』に関する質問がいくつかありましたが、それら全ての質問に対して、市の担当者は明確に回答ができませんでした。今回の学校給食センター建設は、学校給食であることから、教育委員会傘下の『学校教育部』が担当しています。『学校給食衛生管理基準』は文科省が制定したものです。担当者が納品された設計図の中で確認すべきは『学校給食衛生管理基準』の基準にあっているかどうかを照らし合わせるのだと思います。説明会では市民にカラー印刷の平面図（設計図）が配布されましたが、その中で「汚染作業区域」に「非汚染作業区域」を通過して入る入口の配置になっているのは何故か、『学校給食衛生管理基準』では、トイレは食品を取り扱う場所及び洗浄室から3m以上離れた場所に設けるよう努めることとなっているが、そうっていないトイレがあることは大丈夫なのか、という質問が出ていましたが、市側は質問により、その事実気がついたという様子で、明確な回答ができていなかったため、その件について再度確認しました。

…答弁では「汚染作業区域」に「非汚染作業区域」を通過して入る入口の配置については、メンテナンスのときだけ使用する出入口なので問題ない、トイレの配置についても3mは離れていないが、壁で空間を遮っているので問題なく、この点については保健所からも問題ないと言われているとの答弁でした。

…普通、設計業者さんから図面が示されたら、希望通りかどうか、動線を図面上でなぞって確認してみたり、施設の位置関係を確認してみたりすると思います。チェックをするのは発注者側の責任であり、確認せずに市民説明会で図面を配布してしまう姿勢が不思議でなりません。この発注者側の責任という点では、今後の実施設計ではより良いものになるよう、今まで以上に確認をしていくとの答弁をいただきました。

■先を見据えた対応を

…今年度、行われる実施設計については基本設計が問題なかったことから同じ設計業者と随意契約を市は行いません。この先、業者を選定しなければならないのは、建設業者です。市は新給食センターでは運営を外部委託したいと考えています。現在、外食業界では人手不足になっていることもあるため、安定的に良い業者の方に運営してもらえよう厨房設備などを備え、市が優位に業者選定できるような体制にすることも長期的には必要な視点だと思います。また、建設の入札に関しては分離発注が良いのか、一括請負契約方式が良いのかをきちんと精査し、選択した発注方法については、理由について明白に説明ができるようにしてほしいと思っています。更に、他自治体では「入札の際に、工事の一部（下請け的なものなど）に地元業者を入れること」を条件にしているところもあります。東大和市でもこのような大規模工事の場合は地元業者にも還元できる手法も考えて欲しいと要望しました。

■任せて安心という信頼感

…業者は市から建設に関する実作業を請け負っていますが、市は市民からこの事業を請け負っているという立場です。市民や議員から「〇〇についてはどうなっているのか」と質問されたら、即座に、そして明白に説明できるように事業に当たるべき。そして、できることなら、質問されたことに関連して「更に、△△もきちんと確認してあります」といったような、先をきちんと見据えて業務にあたっている姿勢が感じられる対応があれば「任せて安心」という市民からの信頼感が生まれると思います。

…市側には、ぜひ、そうした「先読みをする姿勢」で事業にあたって欲しい、そして、新学校給食センターでは、様々な学校給食コンクールでの「日本一」を目指すようにして欲しいと要望しました。



市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102